

# 平成30年度

# 年間指導計画

## 【5歳児クラス】

		園長		主幹		担当			
<b>保育目標</b>		園生活を楽しみながら遊びや活動に主体的に取り組み、さまざまな経験をすることで得意なことを見つけ、力を発揮し自信をもって生活する 自分でできることの範囲を広げながら、就学に向けて基本的な生活習慣を身につけていく 生活のなかで、文字や数への興味や関心を深め、生活に取り入れようとする							
<b>年間区分</b>		Ⅰ期(4月～6月)		Ⅱ期(7月～9月)		Ⅲ期(10月～12月)		Ⅳ期(1月～3月)	
<b>ねらい</b>		新しい環境や保育者に慣れ、のびのびと園生活を送る 自分から年下の子の面倒をみようとする		5歳児としての自覚をもち、自分から活動に取り組むことを喜び、 友達と共通の目的に向かって話し合いながら活動や遊びを進めていく		様々な考え方や発想を生かして、自分たちの力で問題解決をしたり、やり逃げたりする喜びを味わう トラブルでは自分達で解決していくとする		冬の身近な自然現象に興味や関心をもち、季節ならではの遊びを楽しむ 就学への喜びと期待を膨らませ、成長を自覚して行動する 自分で考えて行動できるようになる	
<b>養護</b>	<b>生命</b>	規則正しい生活習慣を再確認し、習慣づくよう意識的に過ごす		適度な運動と休憩をとることの必要性を知らせ、健康的に過ごせるようにする 汗の始末や着替えを進んで行い、清潔に過ごせるようにする		風邪や病気に対する意識を高め、保育者や友達と一緒に予防や防止に努めようとする		自分以外の家族や友達、先生、地域の人々の存在に目を向け、感謝の気持ちを持つ	
	<b>情緒</b>	自分の気持ちを受け止めてもらい安心して楽しく過ごす 年長という期待感をもって行動する		生活のリズムを整える事の大切さを理解できるようにする 年長児という自覚を持ち、周りをまともようとする		保育士に認められたり、誉められたりする中で、自分に自信を持って生活できるようにする		役割を責任をもって果たす事で、達成感を味わえるようにする	
<b>健康</b>		園生活に必要な決まりやルールを把握し、安全に気をつけて元気良く遊ぶ		室内や戸外で様々な遊びを通して友達との関係を更に深めていく こまめな水分補給と適度な休息を意識して暑い季節の過ごし方を知り、健康に過ごす		手洗いうがいの仕方を再確認し、健康的な生活習慣を身に付ける		就学に向けて期待感をもち、自らの生活習慣を振り返る 早寝早起きの大切さを知り、規則正しい生活リズムを身に付ける	
<b>教育</b>	<b>人間関係</b>	優しさや思いやりをもって、自分より年下の友達の世話や手伝いをしようとする		異年齢児との関わりのなかで、役割を認識して生活する 遊びや生活をリードしていくなかで、年下の友達の憧れの存在としての自覚が芽生えてくる		周りの人に迷惑をかけないよう、相手の気持ちも考えて行動する 自分達で気付いたことを年下の子に伝えていく		友達の良さや得意なことをクラスの中で認め合い、互いに育ち合える関係になる 楽しかった園生活を振り返り、話し合ったり成長を喜び合ったりする	
	<b>環境</b>	園生活の流れを知り、見通しをもって生活する		身の回りの事象や季節の変化に気付き、感性を豊かにする		身近な自然の美しさを感じたり、自然物を使って様々な遊びを楽しむ		季節の自然に関心をもち、観察したり調べたりする	
	<b>言葉</b>	自分の気持ちや考え、経験を自分の言葉で相手に伝えていく 日常の挨拶を進んでしようとする		考えたことや思ったことを人にわかるように話す 自分の意見も主張するが、相手の意見も受け入れるようになる		言葉や文字、記号などに関心をもち自分の思いを伝える手段として取り入れていく		文字に興味をもち、言葉遊びを楽しんだり、字を書く楽しさを知ったりする 覚えた文字を書いて気持ちを相手に伝える	
	<b>表現</b>	保育者や友達と一緒に歌ったり身体表現をすることを楽しむ 自分の思いを遊びや製作物を通して楽しく表現しようとする		季節ならではの水、砂、泥、その他、様々な素材に触れてダイナミックに遊びを展開させていく		音楽に合わせて動いたり、工夫して描いたり作ったりして表現することを楽しむ		クラスの仲間と共に文字や数に興味や関心を示し、書いたり読んだりすることを喜び合うようになる	
<b>食育</b>		保育者や友達と一緒に安心して楽しく食事する 夏野菜の苗植え、世話、収穫、調理体験を経験し、様々な野菜に親しみをもち		食事の挨拶やマナー、準備や後片付けを身に付けていく 野菜の生育の様子から、自然の偉大さや四季の移り変わりに興味と関心をもち、収穫の日を迎える		食事に必要なマナーを身に付け、準備や後片付けも率先して友達と協力して行うようになる		様々な食材に関心をもち、食材を育てた人や調理する人への感謝の気持ちを感ずる 楽しく食事をしながらも時間を意識できるようになる	
<b>健康・安全</b>		内科検診・交通安全指導・避難訓練(消火訓練)・園庭や遊具の安全点検		歯科検診、交通安全指導、避難訓練(火災、地震)、プールの事故防止と衛生管理、園庭、遊具の安全点検、消毒の措置、熱中症への対策		内科検診、避難訓練(火災、地震)、交通安全指導、園庭の整備、危険の排除、遊具の点検、消毒の措置		避難訓練(火災、地震)、消火訓練、交通安全指導、園庭、遊具の点検、消毒の措置、保管(感染症予防対策)	
<b>環境設定</b>		遊びながら友達と輪を広げながら、園生活に慣れることができるような活動を設定する 一人ひとりの様子に合わせて働きかけをしていく 最年長児になったことへの期待と不安を十分に受け止められるような声掛けをする		夏の自然事象に興味をもてる活動を設定する 子ども自身が不思議さや面白さに気付けるよう遊びのなかに自然と関わる活動を組み込んでいく		気温の変化や季節の移りにより、衣服の調節や手洗いうがいの励行など生活に必要な習慣に気づくよう声掛けをする 自分の思いを自分の口で伝えたり安心して話できるよう配慮する		就学を意図した活動を設定する 就学に期待が持てるよう一人ひとりに応じて生活面と教育面の両面を援助していく 遊びや活動のなかで、子ども達が主体となっているよう保育者は必要であれば助言をし、出来るだけ見守る立場に徹する	
<b>配慮事項</b>		一人ひとり関わる時間を大切に、個々の様々な気持ちを理解したうえで関わってあげられるようにする 自立に向けてできることを認め、ほめ、励ますようにする		保育者の指示がなくても自分で考えて行動できるようにする 自分の思いを言葉で伝えたり、安心して話せるよう配慮する 気温の変化や季節の移りにより衣服の調節や手洗いうがいなど生活に必要な習慣に気づくよう声掛けをする		声を出して自分の意見が言えるよう、発表の機会を増やしていく 一日の生活に応じて今どのように行動する場面なのか自分たちで考えられるよう促し、生活にメリハリが持てるようにする		基本的な生活習慣の自立について改めて見直し、子ども達が安心して就学を迎えられるようにする	
<b>保護者等への支援</b>		送迎時間以外にも、おたよりや連絡帳を通して子どもの様子を伝える 安心して園に送り出せるようにし、重ねて信頼関係も築いていく		少しずつ友達や保育者との絆が深まり、安定感を持って生活できるようにしていることを伝え、保護者も安心できるようにする		運動会やお遊戯会等の行事の他、様々な活動では個々に合わせて励ましなが 目標を達成できるように関わっていくことを伝え、家庭でも頑張りをほめたり励ま したりしてもらうようにする		就学に向けて身に付けておいて欲しいことのお知らせ、園と家庭とで子ども達の様子について密に連絡を取り合う 就学に対する保護者の心配や不安を聞き取りを受け止めてあげられるようにする	
<b>行事</b>		入園・進級式、個人面談(希望者)お誕生会こどもの日の集会、内科検診、園外保育、春の親子遠足、交通安全指導、歯科検診、歯磨きの日、保育参観、観劇、プール開き		七夕の日、納涼祭、お誕生会、夏期保育開始、お泊り保育(年長児)、夏期保育終了、鶴生田園慰問(年長児)、敬老の日の集会		誕生会、運動会リハーサル、運動会、災害時引き渡し訓練、交通三指導日、さつまいも掘り、鶴生田園慰問(年長児)、内科検診、マラソンの日、七五三の日(園外保育の日)、お遊戯会リハーサル、いも煮会、お遊戯会、もちつきの日、クリスマス会、冬期保育		誕生会、冬期保育、節分の日、保育参観、雪遊び遠足(年長児)、ひなまつり集会、お別れ遠足、交通安全指導日、お別れ会、卒園式、春期保育	
<b>保育教諭の自己評価</b>									